

東京税経倶楽部

Aug. 2017
Vol.116



Tokyo Zeikei Group

税理士法人東京税経センター

東京都台東区上野 3-14-1 UENO CUBE EXECUTIVE 5F

電話：03-6803-2905(代表) FAX：03-6803-2906

www.tokyozeikei.jp



毎年JRが期間限定で発売している「青春18きっぷ」。JR全線の列車が一日乗り放題になることは知っているも、若者に限らず誰でも使えるということは意外と知られていないようです。青春のあの頃を思い出してほしいという想いの切符だそうです。今年の夏は人生で一回だけ。思い切り楽しみましょう！（徐 瑛義）

【法人税の実地調査を受ける確率は何%？】

税務調査はさまざまありますが、おおよそ「課税処分のための調査」「滞納処分のための調査」「犯則事件のための調査」の3つに分類できます。「課税処分のための調査」とは、課税処分をするための資料を収集することを目的とした調査です。納税者の申告内容が正しいかどうかを判断するために、帳簿や請求書などの書類をチェックします。これは国税通則法に規定されている質問検査権に基づく調査になります。「滞納処分のための調査」とは、滞納になつている税金がある場合、滞納処分手続きをするにあたり滞納者の財産の有無・所在・種類・数量・価額・利用状況・第三者の権利の有無などを明らかにする調査です。これは国税徴収法による調査となります。「犯則事件のための調査」は、査察調査のことを指します。不正の手段を使い故意に税を免れた場合には、正当な税を課すほかに刑罰を科すことが税法に定められています。この調査は、裁判官の許可を得ているので任意調査ではなく強制捜査になり、実質的には刑事手続きと同じように進められます。国税庁の発表によると法人税の実地調査件数は、平成二十四事務年度9.3万件、平成二十五事務年度9.1万件、平成二十六事務年度9.5万件となっています。日本の法人数が約260万社ですから、実地調査は3.5%前後の割合で行われていることとなります。



【デジタルが溢れて際立つ「写ルンです」】

使い切りカメラとして一世を風靡（ふうび）した「写ルンです」が、女子大生らを中心に脚光を浴びています。デジタル画質とは異なるフィルム独特の風合い、1枚1枚を大切に撮る感覚がアナログを知らない若い世代には新鮮です。現像に出して仕上がり待つワクワク感、お気に入りの1枚をSNSに投稿する満足感。シンプルな作りながら進化を続けた「写ルンです」は現像後、工場分解してリサイクルするビジネスモデルも秀逸で、見事な復活劇を演じています。



【今月の教えてキーワード：格安スマホ】

格安SIMカードで運用するスマートフォンのこと。事業者が、NTTドコモやKDDI、ソフトバンクなど大手携帯電話会社の回線を借りて独自に展開する通信事業で、実店舗をあまり持たないなどのコストダウンにより大手事業者よりも安価なサービスを実現している。SIMとは契約者を識別する規格で、音声通話やデータ通信を行う際にはSIMカードが必要となる。SIMカードと端末のセット、カードだけなどさまざまな販売形態がある。

【「最良」の反対は？】

「成功」の反対は何でしょう。今では小学校でも使われるくらいよく知られた問い掛けです。成功の反対は「失敗」ではなく「何もしないこと」、または「チャレンジしないこと」ではないでしょうか。思うような結果が得られなかったとしても、それは成功の種まきだったというわけです。では「最良」の反対は何でしょう。辞書には「最良の反対は最悪」と書かれていますが、もちろん辞書的な意味を問い掛けているわけではありません。

「最良の反対は良である」と言ったのは、主に自費診療を提供している歯科医のK氏でした。保険という制度のある日本では、保険診療をしたほうがビジネスとしては楽かもしれません。けれど本当に必要な歯科医療を提供しようと思ったら、保険制度の中で無償の部分を増やすか自費にするかの難しい選択だそうです。

K氏自身、以前は保険請求できない部分は修行だと思って辛抱し、患者の健康のためにそこそこ良い診療をしている自負がありました。「まあまあなことはしているから、この程度でも他の歯医者よりは良いことをしているはずだ」。そうやって自分を鼓舞する反面、常に頭から離れないのは「これはベストな診療なのだろうか」という迷いでした。



そんな葛藤の日々の中でK氏が出会ったのが、先輩歯科医であるY氏の「最良の反対は良である」という言葉だったそうです。「そこそこ良い」は「ベストを尽くすこと」を妨げる。「まあまあ

良いことをしているから」という思いでいると、その先の一步、さらにもう一步がなかなか出ない。

Y氏の言葉にK氏は背中を押されたと言います。

「そこそこやっているけれどベストではないことは分かっている。分かっているながらも現実に向けてきた自分と向き合うときが来たのかもしれない」と。

誰もが上を目指す必要はありません。ただ、自分なりのベストを追い求める商売ができれば、きっと良い人生になるだろうと想像します。

言葉は心の
足音である

今を生きる！

先人の言葉

臨済宗の僧侶である松原泰道の言葉。言葉は人を傷付けもし、また生きる喜びや明日への勇気も与える。できるだけ心を穏やかに保ちながら話し掛けたいものだ。

【ツバキ文具店】

亡き祖母が営んでいた代書屋を継ぐことになった主人公が、依頼主に代わってさまざまな手紙を書いていく物語です。

友人からの借金依頼を断る手紙に、依頼者の友情を込めることができるのか？今すぐにも手紙を書きたくなる一冊です。

